

坂東市、ロマンの里をたずねて……

将門 史跡めぐり

ウォーキングマップ

今から1100年前の東国は、坂東と呼ばれる未開拓の地でした。その荒地の開拓に農民たちと取り組んだのが将門であったと伝えられています。将門は新しい時代を予期した馬牧の経営と製錬による農具の開発などに取り組み、荒地の開拓を容易にしました。そうした進歩性が一族との争いを生み、その争いが国家権力との争いに発展し、豊かな郷土の実現を間近にして敗れてしまいました。

将門伝説には、その夢の実現を見ずに散った悲劇性と庶民の願望が、今日まで語り継がれています。



①國王神社

平将門を祭神とする神社で、公の三女如戴尼が三十三回忌に父の姿を刻んだ木像が御神体になっている。拝殿・本殿・坐像が県指定文化財。茨城観光100選の一つ。

②島広山

承平5年(935)将門がここに石井の宮所を築き、軍事上の要点としたところである。

③延命寺山門

将門の守り本尊である「藥師如來」を祀り、現在は山門だけが昔の面影を残す。茨城観光100選の一つ。

④石井の井戸

将門が水に困っている時、老翁が水を出してくれたという伝説の井戸である。

⑤一言神社

将門の守護神で水を司る一主明神を祀っている。

⑥九重の桜

将門が御宸殿前から分株したとも、また、都司平守明が植えたとも伝えられている。

⑦富士見の馬場

将門が馬の訓練をし、軍馬や伝馬の市を開いたといわれる所である。

⑧延命院 (地図裏面記載)

平将門の墓塚があり、将門山ともいわれている。市民の浄財による顕彰碑と東京大手町の首塚より送られた石塔婆が建てられている。

一周3.5km 90分見学コース



将門史跡を
ウォーキングで楽しもう!

